

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	流鉄イベント事業			会計	款	項	目	大	事	小	事
政 策	05	5 節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	流山本町・利根運河ツーリズム推進課						
施 策	5-5	特色ある観光の育成と創設		主管課長	井戸 一郎						

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民、来訪者	意図	流鉄流山線を観光資源とし、地域の活性化を目指す。
事業内容	流鉄流山線を観光資源として、地域の活性化を図るために「第4回流鉄BEER電車」及び新選組をモチーフとした人気の女性向け恋愛アドベンチャーゲームのコンテンツを活用したイベントを実施することで、市民への周知や市内外からの来訪を促す。			
事業開始から現在までの状況変化	平成27年度に、流鉄(株)、松戸市、流山市、両市の観光協会及び商工会議所、流山本町活性化協議会で構成する「流鉄開業100周年記念事業実行委員会」を設置し、流鉄(株)、松戸市、流山市の出資及び千葉県補助金により各種記念事業を実施。平成28・29年度は、流鉄と本市の出資で流鉄BEER電車を実施した。平成30年度も両者の出資により各イベントを実施した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名 称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	各種イベント入込数	5,500	12,700	16,000	人
②	流鉄各駅一日平均乗降客数	15,536	15,686	15,826	人	↑↑↑	実績
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

イベントの来場者が近隣飲食店を利用し、流山本町地域に経済効果をもたらした。流鉄流山線の乗降客数の増加に繋がった。

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）

平成27年度の周年記念事業から開始した流鉄BEER電車は、毎年新しい企画を実施し、出展者の質を上げるなどの改善を加えており、来場者が増えている。また、流鉄とゲームのコンテンツを掛け合わせた（車両にゲームのキャラクターをラッピングした等）ことにより、若い女性への認知度が高まった。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	1,873,000	1,842,400	4,723,464
事業費(b)(円)	500,000	500,000	2,745,864
うち一般財源	500,000	500,000	2,745,864
職員給与と費(c)(円)	1,373,000	1,342,400	1,977,600
人役・職員(人)	0.20	0.20	0.30
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	C 民間企業やNPOが担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					
					コストの削減	A 削減の余地はない

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	第4回流鉄BEER電車実施にあたり、広告収入と出店料による事業費確保	③取組における課題(Check)	・更なる自主財源の確保
②H30に実施した取組(Do)	イベントチラシに広告掲載、ビール会社の協賛、出店料の値上げ等、歳入確保に努めた。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	・集客のための新たなコンテンツの検討(会場のバージョンアップ、演者、飲食出店者の再検討等)